



秋季の悪天候によりふじの着色が平年より遅れている状況ですが、果肉成熟は昨年より 7 日程度進んでいると見込まれます。来月から本格的な収穫に入りますが、『いつもより 1 週間早い…』意識のなかで各種作業を進めてください。中生種の収穫も終盤ですが、最後まで適期収穫をお願いします。

【気象特記】

- 台風 25 号：暴風 15.7m/s（南風）
- 10 月気象まとめ：日照量平年比 90%程度（少）・真夏日 10/6 31.7℃・降水量平年比 95%

【百年ふじの里構築へ】

部会幹旋苗木を多数注文頂き誠にありがとうございました。お陰様を持ちまして、シナノリップ 2 年生苗木は完売しましたが、『百年ふじ』・『ぐんま名月』の部会おすすめ品種の苗木はまだ数に余裕があります。しばらく注文を受け付けしています。この機会に園地の若返りを図ってください。

【今年の百年ふじの状況】

ふじ全体に悪天候で着色不良が顕著の中でも、百年ふじの着色上昇は格段に早く、10/10 現在で濃赤色に染まっている園地も多々あります。糖度を測ってみても、早い段階で 15%近くに達しています。導入から 5 年が経過し、各地で本格的な生産が始まっていますが、導入者から『色上がりがダントツに早い！』、『他の系統と比べても色が濃い！』との意見（いいね）が圧倒的です。ここ 2 年は秋季の日照不足・高温等で、色上がりが遅れ、最終的な収穫が遅れる傾向にありますが、この百年ふじはそんな悪条件下でも好調を維持しています。地元で選抜育成された百年ふじを地域ぐるみで導入してみませんか？



【9/20～21 りんご新半わい化 朝日ロンバス栽培全国大会参加報告】

去る 9/20～21 に山形県朝日町で初めて開催された『新半わい化全国大会』。部会・JA を代表して園芸課原澤が参加しましたので、ここに報告します。詳しくは機会を作って改めて報告します。

朝日ロンバス栽培：雪害に強く、作業の省力化・早期多収を目的とした栽培方法。

特徴：幼木期からパイプに固定し、早い段階で主枝候補（定植 2～3 年で選択）として育成。枝の選択が早い分、果実が成り収穫するまで時間がかからない。主枝候補をパイプに誘引していくことから、雪害対策としてもかなり有効的。

普及性：この栽培方法は早期多収が見込め、低樹高のため作業効率（高いはしごを使わず低い位置での作業が可能）が良い。仕立て方法が非常に分かりやすく簡単ということから、新規就農者の方にもおすすめの栽培方法。

